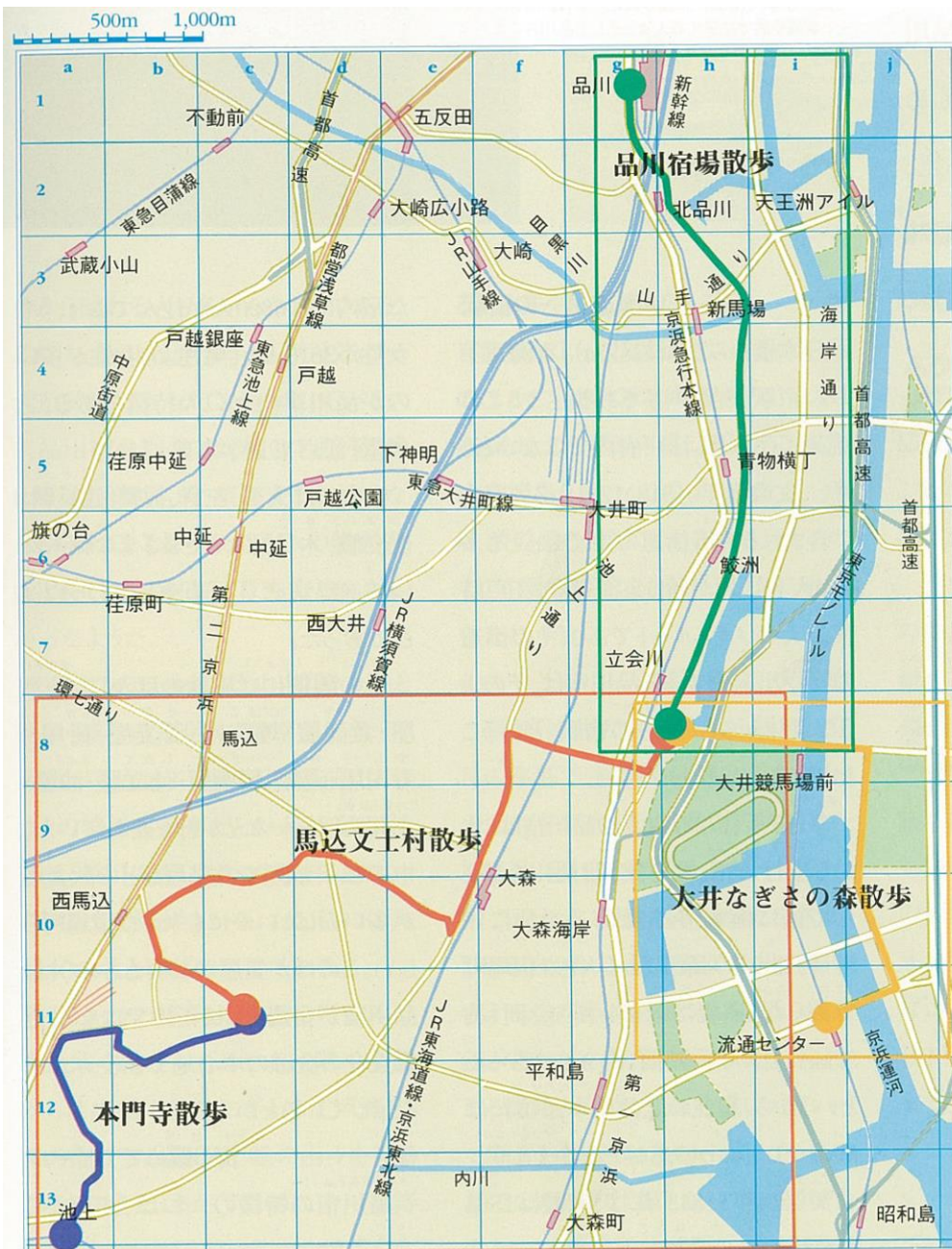


11 品川池上コース 品川駅—池上駅／流通センター駅 14.5km

旧東海道を下り海上公園と文学の里めぐりを楽しむ

室

町時代に海上交通の要衝として栄え、江戸時代に入ってから東海道第一の宿に指定され、旅人や多くの行楽客でにぎわった品川。しかし、宿場町の喧騒を抜ければのどかな漁村・農村が散在する城外であり、とくに山王から馬込にかけては昭和初期まで武蔵野の面影をしのばせる森がのこっていた。JR品川駅を起点に、宿場町のにぎわいとどめる旧東海道沿いの商店街を下る品川宿場散歩。潮の香りを求めて海上公園をめぐる大井なぎさの森散歩。馬込の丘陵地帯に文士たちの足跡を訪ねる馬込文士村散歩。池上本門寺と周囲の名刹を鑑賞する本門寺散歩。バラエティ豊かな4つの散歩道で城南の歴史をたどる。



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

11-a 品川宿場散歩 品川駅—浜川橋 3.9km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

11-b 大井なぎさの森散歩 南大井1丁目—流通センター駅 2.9km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

11-c 馬込文士村散歩 浜川橋—大田区立龍子記念館 5.1km

11-d 本門寺散歩 大田区立龍子記念館—池上駅 2.6km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。